

つなぐ



＜設立状況(29.6.1) 全41地区中＞
 まちづくり協議会 22(23 地区)
 まちづくり協議会準備会 1(2 地区)

発行：松山市役所 市民参画まちづくり課 TEL: (089) 948-6963 FAX: (089) 934-3157

H P : <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/machidukuri.html>

Vol. 13



～猫の排除ではなく

人との「共生」を目指して～



地域猫活動

清水地区まちづくり協議会



地域で回覧板を回し、地域猫の居場所の情報を集め印をつけた地域猫マップ



不妊去勢手術が行なわれた猫の耳は桜の花びら型にカットされます。



地域猫活動とは、飼い主のいない猫を捕獲して不妊去勢手術を実施し、その後、住んでいた地域に放し、その猫たちを地域住民が中心となってルールに基づいて管理し、地域で猫の頭数を減らしていく活動です。

清水地区まちづくり協議会は、平成28年から地域猫活動を行なっています。清水地区では以前から猫の鳴き声や糞・尿などの被害に悩まされていましたが、この活動により33頭の猫が不妊去勢手術をされ、被害が以前より少なくなりました。また、手術のできない子猫が捕獲されることもあります。その場合は、里親会に参加させるなどの対応をとっています。

しかし、首輪のない放し飼いの猫がいることで、地域猫と飼った猫の判断が難しいことや、捕獲する住民を猫が覚えて逃げてしまったり、地域猫の多い地域ではなかなか捕まえることができないなどの課題も抱えています。

「猫に餌やりをしている人たちを非難するのではなく、地域猫活動を地域全体で理解してもらい、協力を呼びかけることで、課題解決に取り組みたい」と話されていました。

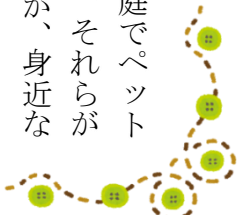
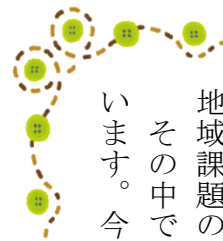
特集

人にも動物にも

やさしいまちづくり

現在、日本では、約2億匹のペットが飼われています。このように、多くの家庭でペットが飼われている現代で、ペットが捨てられ、野良犬や迷子猫になってしまったり、それらが地域に住みつき、糞・尿やゴミ荒らしなどの環境トラブルを起こしたりすることが、身近な地域課題の1つになっています。

その中で、人にも動物にも優しいまちづくりを目指して、様々な機関が事業に取り組んでいます。今回はそのような取り組みにスポットを当て、紹介します。



まちづくり協議会

◎人と犬をつなぐ情報誌



「Inoon（いぬーん）」

2015年の全国の飼育数は約991万頭で、日本の0.8歳の人口合計約946万人よりも多くなっています。そこで、北条地区まちづくり協議会では「人間と犬が共に幸せに暮らせるまち」をテーマに事業をすすめています。

そのために、犬のことや、犬を取り巻く環境や現状などを知ってもらうため、「Inoon」を発信しています。「Inoon」の特集コーナーでは、毎回テーマごとに犬の飼育に必要な情報が掲載されています。また、飼育のための知識やお悩みコーナーもあり、初めて犬を飼う人にも分かりやすい作りになっているほか、漫画や多くの写真が掲載されており、大人も子どもも読みやすくなっています。

さらに、6月11日（日）10時～15時に鹿島で「第4回せとうち犬の輪プロジェクトじゃ犬」が開催されます。犬リンピックなどが行われ、さらに、当日は鹿島までの犬用渡船無料券が配布されますので、ぜひ参加してみてください。



裏面には
4コマ漫画や地域に住む犬の写真、犬の豆知識などが掲載されています。

北条地区
まちづくり協議会が
発行している
「Inoon」



NPO

◎Dog for Life Japan



代表である砂田真希さんは、子どものころにテレビで観た介助犬が現在の仕事に興味を持つきっかけとなり、アメリカの介助犬訓練士大学で準学士課程を修了しました。愛媛県に介助犬・聴導犬育成施設がなかったため、犬と暮らすことで人生を豊かに、楽しくなる経験をしてほしい、また、犬と人が共に幸せになってほしいという思いから、この団体を設立しました。

主な活動として、介助犬・聴導犬を必要としている障がい者へ提供、身体障害者補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）の啓蒙活動としてイベントや講演会での補助犬デモンストレーション、触れ合い体験、学校での総合学習授業などを行っています。

ほかに、人権研究会に提言者として参加したり、保護犬里親会でのしつけ方教室の講師、犬の防災教室の講師なども行ったりしています。また、専門学校の授業で障害者施設、高齢者施設へのアニマルセラピー活動を取り入れ地域高齢者との交流の場を設けています。

広島ショッピング
モールで行われた
介助犬のイベント



小学校で行われた
補助犬の総合学習授業



松山市

◎どうする!? 災害時のペット避難所



毎年、松山市（危機管理課）では総合防災訓練が行われています。近年では、南海トラフ地震に備えるため、飼い主とペットが同伴した訓練が実施されており、協力団体として認定NPO法人えひめイヌ・ネコの会も参加しています。

避難所でペットの受け入れが可能かどうかは、地区の避難所によって異なるため、事前に確認しておく必要があります。認定NPO法人えひめイヌ・ネコの会ではペット避難の運営委託も受け付けています。

犬や猫の防災について、認定NPO法人えひめイヌ・ネコ会が発行している冊子「人と犬・猫の防災」に詳しい情報が掲載されていますので、ぜひ参考にしてください。



ペット同伴の
避難訓練の様子



愛媛県

◎愛媛県動物愛護センター

県動物愛護センターでは、センターに収容された犬猫（松山市を除く）のうち健康管理をした主に子犬や子猫を、毎月第2土曜日に開催している譲渡会にてお譲りしています。また、譲渡会とは別に、主に成犬や成猫を対象とした一般譲渡も行っています。

譲渡を希望する場合、譲渡前に講習会を受講することが必須となっているほか、犬の譲渡を受けた方に関しては、後日必ず「犬のしつけ方教室」を受講していただくこととなっています。また、一般の方を対象としたしつけ方教室を無料で開催しており、随時ホームページなどで案内しています。なお詳細は愛媛県動物愛護センター（TEL089-977-9200・月曜休館）までお問い合わせください。

（注）センターでの犬や猫の譲渡はペットの斡旋ではありません。地域の模範飼い主として、終生大切に飼っていただくことを目的としています。

かざはや楽市



4月16日(日)に北条地区でかざはや楽市が開催されました。天気も良く、多くの人で賑わっていました。かざはや楽市は偶数月の第2日曜日にJR北条駅前通りで開催され、地元の方や高校生も出店しています。

北条地区まちづくり協議会は鍋焼きうどんを販売しました。また、願い文のコーナーが設置されており、親子連れが多く訪れ、真剣に願い事を書き込んでいました。今回書いた願い文は5月の鹿島で行われた大しめ縄張り替え行事で縄の中に入られました。



餅つきの道具「ダイガラ」を使って、できたてのお餅が販売されていました。「ダイガラ」の周りを興味深そうに子どもたちが囲んでいました。



地域力 パワーアップ大会 ～ 地域で楽しく年を重ねよう ～

市内各地域のまちづくり協議会の活動を紹介しながら、市民が主役のまちづくりについて考えるイベントです。

今年度は「楽しく年を重ねる」をテーマに3地区のまちづくり協議会の事例発表や意見交換を行います。

- ・日時 7月2日(日)
14:00～16:00
- ・場所 松山市民会館 中ホール

※手話通訳・要約筆記付き

【お問い合わせ】松山市役所 市民参画まちづくり課

TEL:089-948-6963



■電車でお越しの方■

- ・伊予鉄道「松山市駅」徒歩約10分
- ・伊予鉄道市内電車「南堀端駅」徒歩約3分

■車でお越しの方■

周辺の有料駐車場を御利用下さい

第11回 まちづくりで 輝く 人 地域で活躍している人を紹介します



清水地区まちづくり協議会
地域振興部長 高野 良夫さん

④趣味・特技

以前はバレーボールをやっていました。
魚釣りも好きでよく行きます。

『清水地区はどのようなところですか?』

高校や大学といった多くの学校があるので、たくさんの方が活躍している地域です。

また、山頭火がなくなるまで住んだといわれる一草庵を始め、由緒ある歴史を持つ寺院などの文化遺産が多くある歴史のまちでもあります。

『どのような活動に取り組まれていますか?』

まちづくり協議会の地域振興部長をしているので、どのような施設や桜まつりといった地域の行事を主に行なっています。また、清水公民館の分館長も務めているので、公民館で行なわれる行事にも携わっています。

『まち協で活動していて良かったことを教えてください。』

地域の活動に参加することで、多くの地域の人に喜んでもらえることです。桜まつりでは、桜並木に提灯を飾ることで、近所の人々が写真を撮りに来てくれたので、とても嬉しかったです。

『今後の目標や抱負を教えてください。』

まちづくりは地域の人の協力なしにはできないので、多くの人に参加・協力してもらいたいです。また、地区の行事などの情報を多くの人に知ってほしいので、広範囲に回覧板を回したいです。